

### 1 開催日

1回目：令和8年5月28日（木）

2回目：令和8年6月4日（木） ※1回目、2回目ともに同内容

### 2 講師

リハビリテーション西播磨病院 総合相談・地域連携室 理学療法士 藤本 真子  
作業療法士 杉本 厚子

### 3 報告

介助者への身体への負担を軽減できる「ボディメカニクス」を活用した介助方法や利用者の状態に合わせた移乗方法と福祉用具の活用等の座学、立位移乗・座位移乗・リフト移乗等の実技、福祉用具の体験、グループディスカッションによる事例検討等、「移乗」をテーマに幅広い内容で研修を行いました。

利用者様にとっての安全・安心な介助に加え、介助者にとっても腰痛等の身体的負担を軽減する介助方法等、明日から使うことができる基礎的な技術を学ぶとともに「スライディングシート」や「マルチグローブ」等の福祉用具、「床走行式リフト」や「スタンディングリフト Hug」等の介護ロボットの効果を実感できた研修となりました。

#### 【受講者アンケート（一部抜粋）】

- ・実技での福祉用具の使用では、知ってはいたが使ったことのない用具を使用でき、負担が減ることに驚きました。
- ・ベッドサイドでの転倒を想定した床からベッドへの2名介助による移乗が難しかった。介助者2名の呼吸が大事であることを学びました。
- ・ベッド上や車いすでの移乗で重心の置き方が参考になりました。
- ・リフトを用いた介助の際、介助される側の気持ちがわかり、よかったです。

